



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## プロフェッショナルとしての卒後臨床教育

歯科病院長 榎 宏太郎

医療は日々進歩し、社会もまた常に変化しております。歯科医療という専門性の高い診療技術の安全性と質を保つためには、研修医修了後にも様々な学習の場と継続が必要となります。そのため、歯科病院における臨床系の各講座ではそれぞれ独自の教育プログラムを構築し、先輩医師がその教育を担当しております。また、講座には客員教授や兼任講師も在籍し、勉強会や症例検討を通して、新しい情報を得る機会が設けられております。しかし、何と言いましても、臨床的な知識や経験を積む上で最も優れた教師は、一人一人の患者さんに他なりません。実に様々なことを気付かせてくれます。したがって、その数があまりに少なくて、より良い卒後教育は達成出来なくなります。最近では、国の推進する専門医制度やガイドラインの整備などとも関連し、当該学会の主導のもとで、学ぶべきカリキュラムや教育研修体制の審査が行われることもあります。そして、その内容には、それぞれの教育機関における新人医師の数と対比した患者数の確認も含まれつつあります。

一方、経営戦略や社会の変革に関する著作で有名なピーター・ドラッカー(1909~2005, 米国, 社会思想家, 経済学者)は、21世紀の一般社会における個々のプロフェッショナルの成功と存続の条件に関して、1) 自己の強みを知ること, 2) 自己の変革すべき時期を見誤らないこと, 3) 成長を促してくれる環境かどうかを見極めること, などを上げております。とくに、種々の問題を見つけ、それを解決すべく常に新しい挑戦を続けることで得られる精神的な『やりがい』こそがプロフェッショナルとしての成功に結びつくと述べております。彼の思想は多分に経営論的な観点に立っており、学問の場としての大学機関に全てが当てはまるか否かは不明です。しかし、後輩を育成すべき立場として考えると、非常に重要な事を示唆しているようにも思われます。

歯学部として卒後の継続学習を可能とし、専門的教育を成功させるためには、来院してくれる患者を大切に守り、歯科医学上の難題に挑戦する後輩を支援し続けることが臨床系講座の大きな役目ではないで



しょうか。そのためには、診療科長はじめ先輩の医師は率先して現場に立つ必要があります。そして、若手は、大学で学ぶ機会を得られたことを無駄にせず、自分の得意とする医療を見つけ、発展させ、大きなやりがいを持って社会に貢献すべきであると思います。

## 向井美恵名誉教授が日本歯科医学会 会長賞を受賞されました

歯学部長 宮崎 隆

向井美恵名誉教授が、歯科界で最高の顕彰である平成26年度の日本歯科医学会会長賞(教育部門)をめでたく受賞されました。去る平成27年2月23日に新歯科医師会館大会議室で授賞式が執り行われ、住友雅人会長から記念のプラーク(表彰楯)とメダルが贈呈されました。昨年は、久光名誉教授と岡野名誉教授が同賞を受賞されており、本学にとっては昨年に引き続き大変に名誉なことで祝福したいと思います。

向井先生は日本障害者歯科学会理事長をはじめ、口腔衛生、小児歯科の分野から高齢者・介護・リハビリテーション歯科に関わる多くの専門学会で活躍し、超高齢社会に突入して変容しつつある我が国の歯科医療界全般を牽引してきました。学内においては、口腔衛生学の教育のみならず、初代の昭和大学口腔ケアセンター長として人の摂食・嚥下機能の重要性を社会に認知させ、本学におけるチーム医療の実践ならびにチーム医療教育にも多大な貢献をされました。本学を退職後も、ムカイ口腔機能研究所を主宰して相変わらず全国を飛び回っているようです。今回の授賞を機に、今後も益々お元気でご活躍されますようにお祈り申し上げます。



## 日本歯科医学会会長賞を受賞して

昭和大学名誉教授 向井 美恵

平成23年度日本歯科医学会会長賞授賞式が2月23日に行われました。私は教育部門で受賞の荣誉にあずかりました。このような賞をいただきましたのも昭和大学に在籍して学部連携教育など新しい教育に携わることができたお陰と深く感謝しております。また、スペシャルニーズ口腔医学関連の複数の学会を通じた摂食嚥下リハビリテーション教育や障害のある人に対する歯科医療・福祉における卒前卒後の教育活動が今回の推薦機関である一般社団法人日本障害者歯科学会から推薦していただけたものと思っております。受賞者は研究部門3名、教育部門3名、地域歯科医療部門1名の合わせて、7名でした。他の受賞された先生方の功績に比べ、はなはだ恥ずかしいものがありました。皆様と一緒に住友雅人日本歯科医学会会長から表彰状と勲章を受け、式後には晴れがましく写真におさまる次第となりました。

当日は、昭和大学歯学部学生の新教育カリキュラムが歩き出した頃や、学部連携の地域医療実習など、医系総合大学である昭和大学でこそ経験できた充実した教員生活の日々を、大学と学部の皆さんに感謝しつつ懐かしく思い返しながらの受賞式でした。

## CBTワークショップが開催されました

共用試験 CBT 実施責任者 北川 昇

平成27年度共用試験CBT講習会(ワークショップ)が、4月25日(土)に旗の台 1 号館5階会議室とPBL ルームにおいて開催されました。医療系大学間共用試験評価機構から、斎藤隆史先生(北海道医療大学教授)・天野 修先生(明海大学教授)をタスクフォースにお招きし、美島教育委員長のご挨拶の後、講習会が開始されました。今回の参加者は22名でした。タスクフォースの先生による、共用試験CBTの概要と問題作成マニュアルの説明の後、A・L問題作成時の注意点(良問・悪問)、午後はW・Q問題についてそれぞれのレクチャーが行なわれました。その後、スモールグループに分かれて参加者が事前に作成してきた問題のブラッシュアップを行い、その成果を発表しました。タスクフォースの先生からも、「大変真面目に取り組んでいる。」というお褒めの言葉をいただきました。最後に参加者全員に修了証が授与され、関係者としては次年度の採択率が少しでもアップする事を祈りつつ、無事終了しました。



## ブリティッシュコロンビア大学への春季交換プログラムに参加しました

歯学部6年 三浦 由実

4月20日から5月15日の間、カナダのブリティッシュコロンビア大学での春季交換プログラムに参加しました。大学では、診療の見学、学生臨床実習の見学とアシスト、講義の聴講、卒業前のディスカッションやPBLなど、色々勉強させていただき、充実した時間を過ごすことができました。PBLの内容は昭和大学と類似していて、また学生は参加に大変積極的でした。1年次は週3回と頻度が高く、自己学習から学ぶことが大切にされていました。日本では、歯科医師が専門的に治療する場が歯科病院にありますが、UBCでは基本的に学生診療だけで、低価格の治療を求める患者さんが来院していました。私達の他にも、海外からの学生が見学に来ており、様々な国の歯科事情に

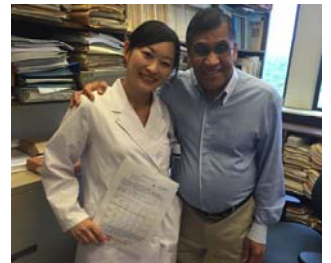


についても教えてもらうことができました。このような機会を作ってくださった先生方、ありがとうございました。

## ブリティッシュコロンビア大学への春季交換プログラムに参加しました

歯学部6年 安田 舞子

5月4日から5月15日の2週間、カナダのブリティッシュコロンビア大学で選択実習を行ってきました。午前中は主に3年生の講義やPBLを聴講した後にクリニックで診療の見学をし、午後は主に診療の見学をしました。こちらでは患者さんへの実際の説明方法なども丁寧に解説されるなど、より実践的な講義が行われていると感じました。クリニックでは、教員の指示のもと、学生が一人で診療していました。学生が処置に戸惑うことがあっても患者さんはみな非常に協力的で、ラポール形成の重要性を目の当たりにしました。また、診療中は様々な言語が飛び交うなど、移民が多く暮らすバンクーバーならではの貴重な体験もできました。クリニックでは皆がフレンドリーでコミュニケーションが盛んな一方、学生はきちんと自分の考えや治療計画を述べた上で教員からの指示を仰ぐなど、日本との違いも垣間見ることができたと思います。今回の体験を今後の歯科医師人生に生かせるよう、まずは国家試験合格を目指して頑張ります。このような貴重な機会を与えて頂き、深く感謝いたします。



## ブリティッシュコロンビア大学への春季 交換プログラムに参加しました

歯学部6年 藤井 みなみ

海外選択実習としてブリティッシュコロンビア大(UBC)で1か月間実習を行ってきました。昨年の春にも滞在し、今回の訪問が2度目となります。UBCは4年制のため、日本とは異なり、3、4年生が主に治療を行っています。自分自身の患者を受け持つことができ、治療も任されています。歯科は保険適用ではないため学生が治療を行うことで30~40%も安くなるのだそうです。昨年の訪問では、臨床現場を見るのは初めてであり、臨床と机上の勉強を結びつけることができたのが主な収穫でした。しかし、今回は日本での臨床実習を終えた後だったので、生徒にレントゲン写真を示され、君なら治療はどうするかと聞かれることもあり、昨年よりも深いところまで診療に関わることができました。今回は気付かなかった細かな治療内容や器具において、日本との違いを知ることができました。最大の違いを実感したのは日本では環境汚染の危惧から現在はあまり使用されていないアマルガムを使用した治療がしばしば見られたことです。



また、オーストラリア、サウジアラビア、ナイジェリアなどの留学生とも交流があり、UBCのように学生のうちから自分の患者を診ることができ

ることなど、それぞれの国の歯科システムの違いやその国特有の問題点、保険、治療にかかる費用などたくさんの情報交換を行うことができました。1年越しに再訪することで自分の成長を実感することもでき、細部にわたり日本との違いを感じることができ、有意義な時間を過ごせることができました。研修に関わってくださった全ての方々に、改めて感謝いたします。

## 海外留学生紹介

リーナ ロドリゲス  
口腔生化学講座 Reena Rodriguez

My name is Reena Rodriguez and I am a Research Fellow at the Department of Biochemistry, School of Dentistry. I received my Bachelor of Dental Surgery (B.D.S) from Saveetha Dental College, Chennai, India.



While I worked as a general dental practitioner I became very interested in pursuing Oral Implantology. After having come to Japan, I received the opportunity to become a guest researcher at the Branemark Osseointegration center, Tokyo and underwent Implant training courses at this center. I then joined Tokyo Medical and Dental University at the Department of Oral Implantology and Regenerative Dental Medicine. I graduated with a Ph.D in 2012. In the same year I was fortunate to receive the ITI (International team for Implantology) scholarship and got an opportunity to further undergo clinical training at the Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Katharinen Hospital, Germany. After having come back to Japan, I have been very fortunate to have become part of the Department of Biochemistry, School of Dentistry, headed by Professor Ryutaro Kamijo.

It is truly a unique department which undertakes a vast spectrum of research. It is intellectually very stimulating to be working in such an environment. My supervisors Dr.Kentaro Yoshimura and Dr.Yoichi Miyamoto, all the other senior staffs and colleagues are very friendly and forthcoming and hence integrating into the department was very easy. Excellent laboratory facilities, highly experienced supervisors and colleagues from various specialities with wide spectrum of research interests, make up for an extraordinary working environment.

A special mention to Dr.Hirotaka Kuwata, Professor of Oral Microbiology and Immunology and the International Exchange Center for the continued guidance and support.

Now when I look back I am truly grateful that life brought me to the "Land of the Rising Sun" in order to fulfill my dreams. I look forward in great anticipation to my time at the Showa University and would like to once again say "Domo Arigatou gozaimasu" for this great opportunity.

## 海外留学生紹介

ジョウ ジュン  
歯科理工学部門 Zhou Jun

Hello everyone! I, Zhou Jun, am a master of dentistry from Tianjin Medical University in China. My major in clinical medicine is prosthodontics, and the scientific research focuses on biomaterials of dentistry.



I have achieved National Scholarship for Postgraduate when I studied postgraduate programme. After graduation, I worked as a dentist in the Stomatological Hospital of Tianjin Medical University. During my work period I also won some awards of Case Reports in the Chinese Academic Conference. Besides, I like swimming, travel and badminton on holidays. These favorable habits make me become healthier physically and mentally. In fact, I firmly believe that as a doctor, the most honorable thing is to cure patients. So I am willing to help others and make my own contribution to society. These enable me to be happier and make my life become more significant. In spare time I often see patients on a volunteer basis and share health knowledge with the older in rural areas and communities. Therefore, I was rewarded as Award for Excellent Volunteer in Tianjin City. Several years of hard voluntary work in medical institutes, I profoundly understand that the responsibility of a doctor is to give humanistic care as well as cure patients.

To be honest, I am so happy to participate in the exchange program held by Showa University. Showa University is well-known in our professional field so I really appreciate this chance. Now I engage in advanced studies in the Biomaterials and Engineering Department, School of Dentistry. The learned professor, Miyazaki, acts as my adviser. What I have studied in Showa University not only broadens my professional knowledge but also lets me get better understanding of scientific research. I attach more importance to this further study and make a real effort to improve self-enhance. Of course, if you are interested in Chinese traditional culture or my major, please contact me. I will try my best to help you, and share something interesting with you. Thank you.

## 海外留学生紹介

ダイアン アンジェリ オウストリア  
歯科薬理学講座 Dianne Angeli Austria

初めまして、ダイアン・オウストリアと申します。私はフィリピン大学歯学部を卒業しフィリピンの歯科病院で二年間働いた後、日本に来ました。子供の時からテレビのアニメなどを見て、日本に関心を持ちました。今は、特に日本文化全般と生活様式に興味を持っています。日本へ来てから昭和大学に来るまでは日本語学校で日本語の勉強をしてきました。日本の大学でもっといろいろなことを学びたいと思い、昭和大学歯学部のポストグラデュエートコースに入学しました。より深く日本の文化を学ぶため、いろいろな公園や神社などへよく行っています。日本の四季も美しいと思います。四季の移ろいによって色々なことも変わります。今後、昭和大学のみなさんと一緒に学べることを大変楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひします。



## 昇任・採用

広報委員長 中村 雅典

村上 浩史 助教(口腔衛生学部門)  
川満 絢子 助教(昭和大学口腔ケアセンター)

## 認定医・専門医取得

広報委員長 中村 雅典

日本顎関節学会専門医:渡邊 友希 顎関節症治療部門兼任講師

## 行事予定

広報委員長 中村 雅典

6月6日(土):昭和大学白菊の集い  
6月13日(土):父兄会総会  
6月27日(土):昭和学会例会  
6月27・28日(土,日):富士吉田寮祭  
6月28日(日):富士吉田オープンキャンパス  
7月10日(金):夏季スポーツ大会壮行会  
7月25日(土):歯学部オープンキャンパス  
7月29-31日(水-金):昭和大学教育者のためのワークショップ

## 編集後記

口腔衛生学部門 内海 明美

5月とは思えない暑さの毎日。日本は四季ではなく、雨季を加えた五季化しているという説もあるそうです。お忙しい中、原稿執筆頂いた皆様方に感謝致します。